

主催：吉祥院アートプロジェクト実行委員会



片桐山 吉祥院



## 新潟有数の北洋漁業家「片桐家」を再発見

かつて、新潟は北海道に次ぐ北洋漁業の拠点でした。江戸時代から網元として発展した片桐家は、新潟の有数の北洋漁業家でもありました。本プロジェクトは、湊町として発展した新潟の歴史の一端である『新潟における北洋漁業と片桐家』を再発見してもらおうと企画したものです。

会場は片桐家の菩提寺である『片桐山吉祥院』。檀家(墓)が無く、境内には『魚介供養塔』が建立されているユニークな寺院です。会場のアイキャッチとして片桐家が北洋漁業で使用していた船舶名を取り入れた『大漁旗』を寺院外部に設えることで、吉祥院の前を通る通行人の興味を引き、長年閉じていた吉祥院に目を向けるきっかけとしました。会場内では『新潟における北洋漁業と片桐家』の歴史を紹介するパネルを展示するとともに、吉祥院所蔵品を展示することで、北洋漁業の拠点として発展した新潟と、有力北洋漁業家

であった2代目片桐寅吉、そして北洋漁業により、一層発展した片桐家について理解を深めてもらう内容としました。吉祥院は長く閉じており、お寺が開いている光景を目にした事がないからか、ご近所からの来場が想定以上に多かった印象を受けました。また、長年ご近所に住んでいても、新潟における北洋漁業や片桐家の事を知らない方がいるという事実を実感することができ、今回のプロジェクトの目的を少しは達成できたと感じています。一方で、昔の吉祥院の様子のお話を聞くことができました。「地域の集合場所が吉祥院であった」「本堂脇の駐車場には、かつてパン屋などがあった」など、吉祥院に関する記憶を掘り起こす事に繋がり、想定していなかった成果がありました。今回は少ない日数での開館でしたが、吉祥院が今後多くの方から来場していただくことのできる資源であると認識できました。(文：加藤)

- 9月15日(土)～10月8日(月・祝)の土日祝[不定期開催]  
吉祥院アートプロジェクト (片桐山吉祥院)